

平成25年度 学校目標の内容について

は昨年度と区分が変わった学校

内容区分	23年度 校数	24年度 校数	25年度 校数	25年度 学校名															
				城下	吹上	関南	柏崎	小中野	江陽	湊	白銀	白銀南	町畑	大久喜	金浜	江南	日計ヶ丘	是川	
確かな学力・基礎学力	16	26	27	城下	吹上	関南	柏崎	小中野	江陽	湊	白銀	白銀南	町畑	大久喜	金浜	江南	日計ヶ丘	是川	
				下長	高館	根岸	桔梗野	轟木	多賀	多賀台	島守	中居林	根城	是川東	明治				
表現力・書く・話す・言語活動	20	9	9	八戸	青潮	三条	西園	松館	鳩田	田代	旭ヶ丘	中野							
学習・生活習慣	2	5	5	白鷗	美保野	種差	城北	田面木											
学び合い	1	2	2	長者	白山台														
立腰・体力	1	2	2	鮫	新井田														
思いやり・心の育成・あいさつ	3	2	2	豊崎	市野沢														
主体性・意欲	4	0	0																

内容区分	23年度 校数	24年度 校数	25年度 校数	25年度 学校名									
				北稜	大館	東	中沢	小中野	湊	南浜	鮫	明治	
自主性・意欲	9	8	9	北稜	大館	東	中沢	小中野	湊	南浜	鮫	明治	
表現力・話す・言語活動	5	8	8	江陽	根城	市川	豊崎	島守	田代	白山台	三条		
確かな学力・基礎学力	5	3	4	第三	白銀	是川	下長						
学習・生活習慣	0	3	3	白銀南	第一	第二							
学び合い	1	1	1	長者									
心の育成・コミュニケーション	4	2	0										
読書	1	1	0										
家庭学習	1	0	0										

平成25年度 学校目標

【小学校】

No.	学校名	学 校 目 標
1	八 戸	「考えを伝え合う力の育成を図る」
2	城 下	「基礎的基本的な学力の定着」（国語・社会・算数・理科）…児童が「わかったできた」と評価する授業割合を80%以上にする…
3	吹 上	「基礎学力の確実な定着を図る」「基本的生活習慣の育成を図る」
4	長 者	「自他の良さに気づき高め合う子の育成」
5	図 南	「学力を高めるための板書とノート指導の充実」
6	中 居 林	「基礎的・基本的な学習内容を確実に定着させ、それらを土台にした思考力・判断力・表現力を身につけた児童の育成を図る。（各診断テスト等で、平均点75・偏差値55・全国比110以上を目指す）」
7	柏 崎	「基礎学力の確実な定着を図る」
8	小 中 野	「基礎・基本の確実な定着及び基本的生活習慣の育成を図る」
9	江 陽	「国語・算数の基礎基本の確実な定着を図る」
10	湊	「基礎学力の確実な定着～楽しく、わかる授業作りを通して～」
11	青 潮	「書く力の育成を図る～まねて書く・くわしく書く・まとめて書く～」
12	白 銀	「国語の学力向上を図る」
13	白 鷗	「共に学び、生活する子の育成」
14	白 銀 南	「基礎学力の定着」
15	町 畑	「国語・算数の基礎・基本の確実な定着を図る」
16	美 保 野	「学び方を身に付け、自分から取り組む子どもの育成」
17	鮫	「体力向上－『走る・跳ぶ・投げる』で全国平均を上回る－ （合わせて、この取り組みによって肥満傾向児童を10%以下にする。）
18	種 差	「学び方を身につけ、自ら学習する子どもの育成」
19	大 久 喜	「課題を把握させ、解決する活動を通して、意欲を高め、基礎学力の確かな定着を図る」
20	金 浜	「児童の読み取る力を伸ばす」
21	根 城	「基礎的・基本的な学力の定着」
22	白 山 台	「『ともに高め合うこと』を意識して行動する態度の育成を図る」
23	江 南	「関心・意欲、思考力、判断力、表現力等、機能的学力の向上」
24	田 面 木	「学習規律の確立」
25	下 長	「確かな学力の育成を図る」
26	城 北	「家庭学習の充実」
27	高 館	学びの基礎をはぐくむために「基礎・基本の確実な定着を図る」「学習習慣の確立を図る」
28	根 岸	「基礎学力の向上」
29	日計ヶ丘	「基礎基本の確実な定着」
30	是 川	「基礎・基本の確実な定着を図る－文章題を図で整理する力を育てる－」
31	是 川 東	「基礎学力の定着を図る」
32	三 条	「読み取る力を高める～言語活動の工夫～」
33	西 園	「説明文の授業の中で、小集団で考えを交流し、相手に伝わるように発表したり書いたりする子どもを育成する」
34	明 治	「算数の学力向上を図る」
35	桔 梗 野	「基礎的・基本的内容の確かな定着」

36	轟 木	「表現力や応用力のさらなる向上を目指し、主体的に課題を解決していく力の育成に取り組む。(各診断テスト等で偏差値57、全国比110以上を目指す)」
37	多 賀	「基礎・基本の確実な定着を図る」
38	多 賀 台	「基礎・基本の確実な定着(国語)を図る」
39	豊 崎	「ふるさと『豊崎』を誇りに思う子」
40	新 井 田	「進んで高めようとする子の育成」
41	松 館	「多様な体験を通して豊かな心を育み、進んで自分らしく表現する子に育てる」「児童一人一人の基礎学力を高め、進んで自分らしく学習する子に育てる」
42	旭ヶ丘	「筋道を立てて考え、場に応じた表現ができる児童の育成」
43	市 野 沢	「明るいあいさつ・確かな返事」
44	中 野	「豊かに読む力の育成を図る」
45	鳩 田	「表現力の育成」～おりあいをつけながら、自分の考えをまっすぐに伝える力の育成に努める～
46	島 守	「基本・基本の定着を図る」
47	田 代	「的確な理解のもと、自分の考えを適切に表現できる児童生徒の育成」

【中学校】

1	第 一	「時と場に応じたあいさつと返事ができる生徒の育成」
2	第 二	「主体的に学習に取り組む生徒の育成」「自分のよさを集団の中で積極的に生かす生徒の育成」
3	第 三	「基礎学力の確実な定着～ユニバーサルデザインの視点を生かして～」
4	長 者	「聴き合い、学び合う中で、意欲的に学ぶ生徒の育成」
5	小 中 野	「夢に向かって志をもち、自分を鍛える生徒の育成」
6	江 陽	「自分の思いや考えを表現できる生徒の育成」
7	湊	「自らの進路を見つけ、それに向かって努力する生徒の育成」
8	白 銀	「確実に基礎学力を定着させ、自学自習できる生徒を育成する」
9	白 銀 南	「良好な人間関係を築き、集団の中で自分の良さを発揮するしなやかな生徒の育成」「苦しさ に立ち向かい、自ら道を切り拓くたくましい生徒の育成」
10	鮫	「自己を磨き、他を認め、自主的に活動する中学生を育てる」
11	南 浜	「目標を持ち、自らを高める生徒の育成」
12	根 城	「自分の考えを積極的に表現できる生徒の育成」
13	白 山 台	「自分の思いや意見を発言できる生徒の育成」
14	下 長	「基礎的・基本的な知識・技能を身に付けた生徒の育成」
15	北 稜	「課題対応能力の向上」
16	是 川	「授業の充実を図り、学力の向上をめざす」
17	三 条	「学びの中で、自分の意見を伝えることのできる生徒の育成」
18	明 治	「将来の展望を持ち、何事にも意欲を持って取り組む生徒の育成」～キャリア教育の視点に 立った取り組みを通して～
19	市 川	「文武両輪の取組により、自分の考えを相手に正確に伝えられる生徒の育成」
20	豊 崎	「人とかわり、堂々と自分を表現できる生徒」
21	大 館	「主体的、意欲的に学習に取り組む生徒の育成」「心身ともに、力のある生徒の育成」
22	東	「自ら学ぼうとする意識と実践力の育成を図る」「自らより善い集団づくりに努めようとする 意識と実践力の育成を図る」
23	中 沢	「生徒が意欲的に学習に取り組む姿を目指した授業の改善」
24	島 守	「自分の思いや考えを豊かに表現できる生徒」
25	田 代	「的確な理解のもと、自分の考えを適切に表現できる児童生徒の育成」

小中野公民館防災拠点施設整備事業について

1. 小中野公民館防災拠点施設整備事業の経緯

小中野公民館及び隣接する小中野コミュニティセンターを、東日本大震災復興交付金を活用し、従前の社会教育施設としての機能に、地震災害等による停電時にも避難所機能を維持し、また最新の津波シミュレーションに基づく想定最大浸水深5.0mの津波にも対応可能な津波一時避難施設としての機能も加えた、防災拠点施設として現在地に改築整備する。

2. 整備事業の概要

(1) 建設地

所在地・・・八戸市小中野五丁目2-17（現在地）

敷地面積・・・1,989.20 m²

(2) 構造及び規模

鉄筋コンクリート造3階建 1,977.575 m²（建築基準法 延床面積）

(3) 主な設置室・設備名

1階・・・玄関ホール、駐車場（13台）

2階・・・事務室、会議室、小ホール、調理室、和室、トイレ（多目的あり）

3階・・・大ホール、用具庫、備蓄倉庫、トイレ

屋上・・・避難スペース、非常用自家発電機室（発電機室上屋も避難スペース）

その他・・・エレベーター（1階から3階まで）、

非常階段（1階から3階まで及び1階から屋上へ直通を各1箇所ずつ）

3. 工事種別

(1) 工事内容

小中野公民館防災拠点施設整備事業 本棟工事（昇降機設備含む。6月議会議案提出予定。）

同 電気設備工事、同 機械設備工事

(2) 完成予定

平成26年5月末を予定。（平成25・26年度継続事業）

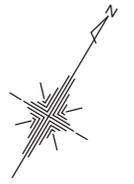
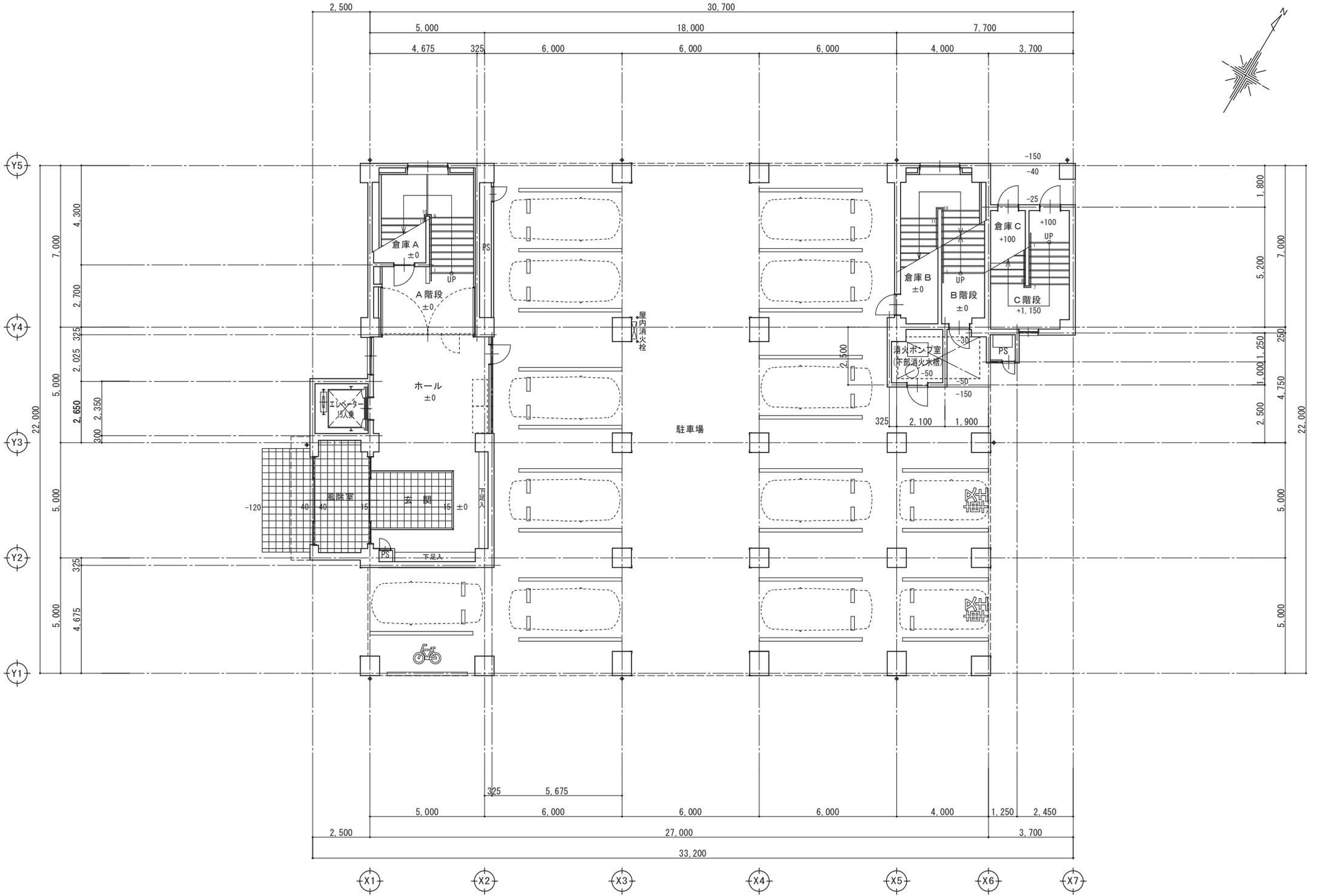
4. 防災拠点施設整備期間における公民館活動について

4月1日より、隣接する小中野小学校西校舎1階の普通教室3部屋を借用し、座学を中心とした講座を開設している。なお、開館時間は9:00から16:30の時間とし、学校行事等で休校となる場合は、休館日となる。

また、同公民館で活動している自主クラブについては、近隣の公民館を借用して活動している。



このパース図は暫定的なものであり、デザイン・色彩等については、地元と協議の上決定されます。



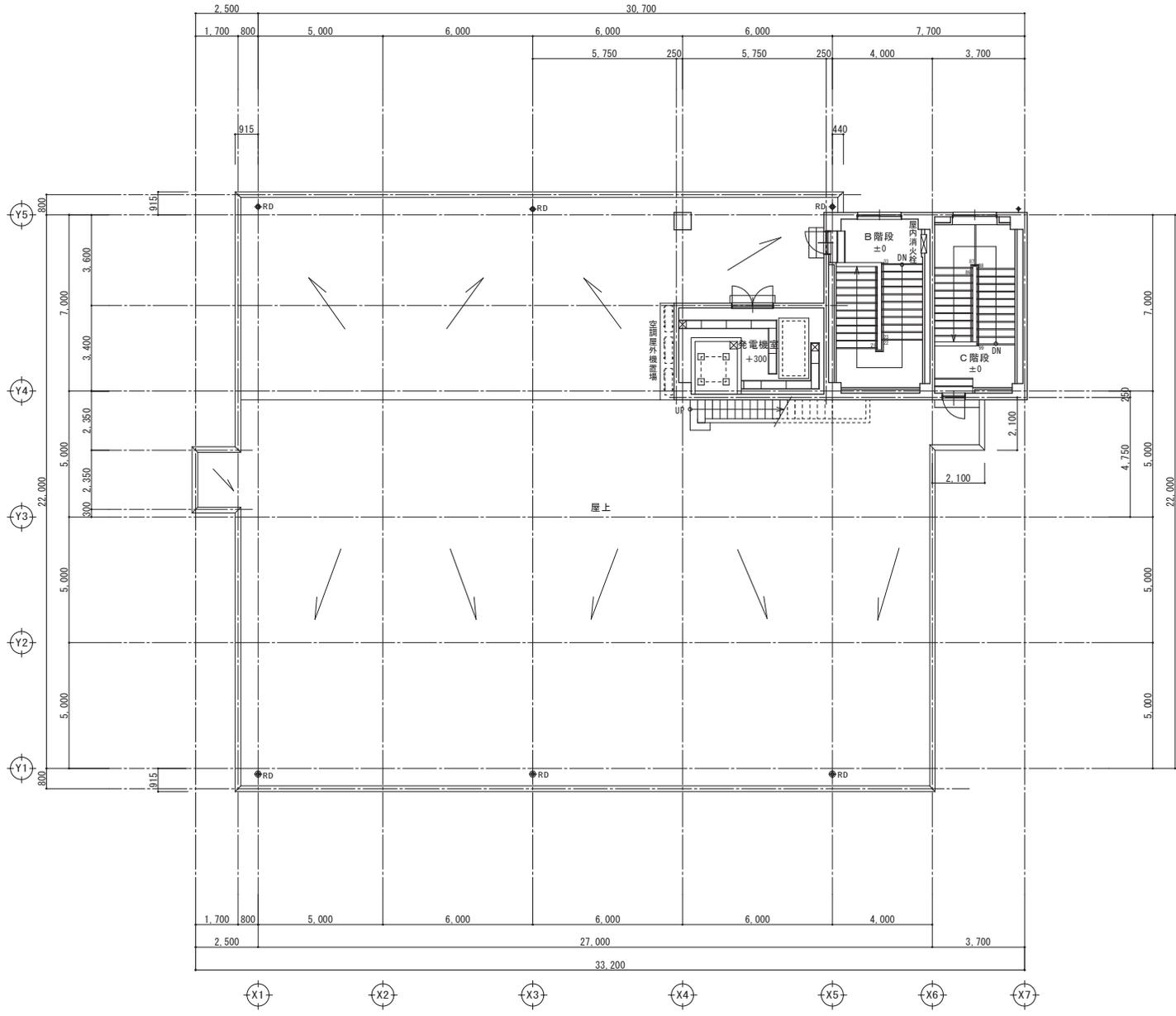
1階平面図 S=1/200



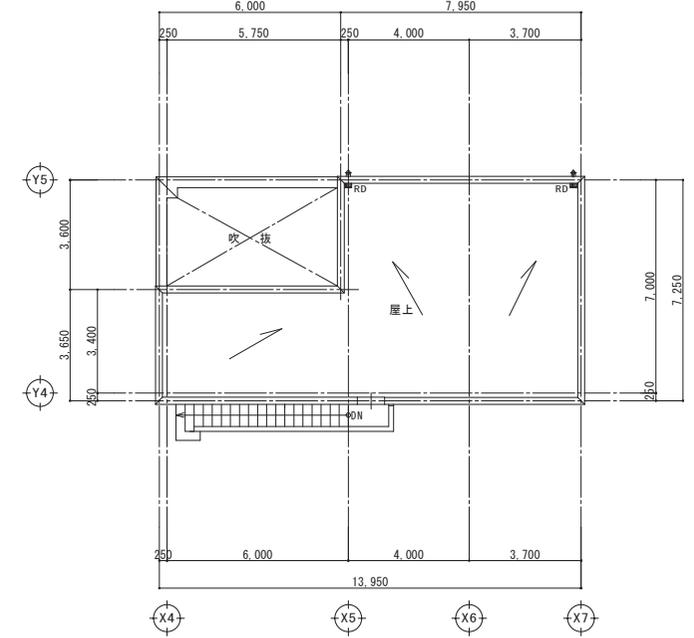
2階平面図 S=1/200



3階平面図 S=1/200



PH階平面図 S=1/250



PH階屋根伏図 S=1/250

平成 25 年度八戸市史講座の開催について

『新編八戸市史 通史編Ⅱ 近世』の発刊を記念するとともに、市史編纂事業の成果を広く市民に周知するため、市史講座を開催します。今年度は、近世編として『通史編Ⅱ』の執筆者を講師に迎え、藩政時代の様々なテーマについて、新たな視点も交えながら解説していきます。

回	月 日	演 題 (仮)	講師肩書	講 師
1	6月15日(土)	八戸藩の鉄山とたたら製鉄	市史編纂室嘱託員	さいとう 藤 潔 きよし
2	7月20日(土)	近世八戸を襲った飢饉と災害	八戸歴史研究会会員	ななきき 七 崎 修 おきむ
3	8月17日(土)	幕末の動乱と八戸藩	青森県立郷土館 研究主幹	ほんだ 本 田 伸 しん
4	9月14日(土)	八戸藩の参勤交代と 幕府への勤め	学習院女子大学教授	いわぶち 岩 淵 令治 れいじ
5	10月19日(土)	八戸藩の海運と交易	秋田大学教授	わたなべ 渡 辺 英夫 ひでお
6	11月17日(日)	藩政改革と百姓一揆	青森県環境政策課 主幹	なかのわたり 中 野 渡 一耕 かずやす
7	12月14日(土)	農山村の生業と環境 —大豆と馬を中心に—	宮城学院女子大学 教授	きくち 菊 池 勇夫 いさお
8	1月19日(日)	八戸藩の宗教	市史編纂室長	ふじた 藤 田 俊雄 としお
9	2月15日(土)	八戸藩の成立と初期の藩政	八戸工大二高教諭	くまがい 熊 谷 隆次 りゅうじ
10	3月15日(土)	八戸の風土が生んだ安藤昌益	八戸歴史研究会会長	みうら 三 浦 忠司 ただし

- ・場所は図書館2階集会室。
- ・時間は10時から12時まで。ただし、9月・10月・12月は13時30分から15時30分まで。